

しんば賀津也と歩む会 NEWS



Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成25年1月発行 Vol.22 20,000部発行

常に初陣

平成二十五(二〇一三)年の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また日頃から「歩む会」の皆さまには温かいご支援とご指導を賜り、心より感謝を申し上げます。

昨年は年末に衆議院解散総選挙が実施され、皆さまにはそれぞれの選挙区で大変にお世話になりました。本当でありがとうございました。結果は大変厳しいものとなりましたが、私たちを信じて支援し続けてくださった皆さまの想いを、真の財産として心から感謝すると同時に、示された民意を真摯に受け止めなくてはなりません。

三年三ヶ月の民主党政権の何が問題だったのか、何が足りなかったのか、なぜ改革の成果が正しく伝わらなかったのか、まずは私自身が謙虚に反省をして、次のより良い政策実現と体制の建て直しを誓わなくてはなりません。なぜならば、私たちこそが「税金を集めて使う側」でなく「働いて税金を払う側」の立場で、この国の政治システムを変えようとして、挑戦し続けたという自負があるからです。



外務副大臣着任式(10月3日、外務省)

今年はこの国の政治が新たなステージを迎える年だと思えます。マスコミに煽られて、不毛な政局ゲームに明け暮れている時間的余裕はこの国にはありません。かつてのチルドレンが新しいチルドレンと入れ替わっても日本の政治は進歩しません。野党と与党を経験し、防衛省と外務省で副大臣を務めさせていだいて、今真剣に感じるのは「日本の政治に必要なのは覚悟ある与党」と責任ある野党である」ということです。その意味では野田内閣は間違いなく覚悟ある与党でありました。

なので。

野田総理が自民党の安倍総裁と解散前の党首討論で約束したことがあります。「国会議員の定数削減」です。安倍総裁はこれを了としたからこそ、野

田総理は解散に踏み切ったのです。すべての国会議員も、有権者も、マスコミもこれを忘れてはいけませんし、新しい政府は約束を果たさなければなりません。

確かに国会議員の定数を大幅に削減したり、議員歳費をカットしても財政に与える影響は微々たるものかもしれませんが。しかし、議員定数と歳費の削減は国権の最高機関で仕事をさせていただく我々国会議員の「覚悟」と「姿勢」の問題

今年の夏には、いよいよ第23回参議院議員選挙が実施されます。私自身、三期目の挑戦になります。涙を吞んで国会に戻れなかった同志や、支援してくださったすべての方々のためにも、私自身は絶対に勝ち抜かなくてはならない戦いだと言っています。

「常に初陣！」

初心を忘れず、新たな年の一日一日を大切に全力を尽くし、しっかりと職責を果たして参ることを決意して、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いたします。

参議院議員 榛葉賀津也



国会発

東 奔 西 走

世界のSHIMBA!
日本の榛葉!
静岡のしんば!!



11/7~9 第5回バリ民主主義フォーラム出席 (水) (金)



タイ王国インラック首相

首相特使としてインドネシアで開かれたバリ民主主義フォーラムに出席し、「アジア地域の民主化とグローバル・ガバナンス」をテーマに英語で演説。また、タイのインラック首相をはじめ各国代表と会談。

7/5 国会事故調報告書を受領 (木)

国会に設置された福島原発事故調査委員会による調査報告書が衆参両院議長に提出され、議院運営委員会筆頭理事として黒川清委員長より報告を受け、説明書を受領。



11/16 安全保障委員会で答弁 (金)

衆議院安全保障委員会において外務副大臣として所信を述べると共に、山積する外交問題について答弁。



7/30 子ども国会開催 (月)

日本全国より次の世代を担う「小学生議員」をお迎えし、子ども国会を開催。「復興から未来へ」を議題に活発な意見が交わされ、議院運営委員会筆頭理事として難壇(閣僚席)に座り、本会議に出席。

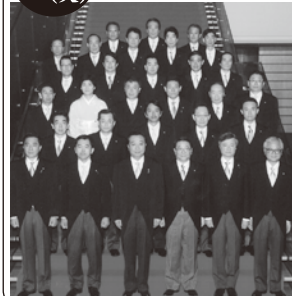


12/3~5 南スーダン共和国訪問 (月) (水)



2011年に独立を果たした南スーダン共和国を訪問し、政府高官と会談すると共に国連平和維持活動(PKO)派遣の日本の自衛隊を激励。

10/2 外務副大臣に就任 (火)



第三次野田改造内閣において、外務副大臣を拝命。防衛副大臣や外交防衛委員長の経験を活かし、山積する外交・安全保障の諸課題に積極的に取り組む。

12/6~7 欧州安全保障協力機構外相理事会出席 (木) (金)

外務副大臣として米国クリントン国務長官、ロシア連邦ラブロフ外相らと共に、アイルランドで開催された欧州安全保障協力機構(OSCE)外相理事会に出席。モンゴル国のボルド外務大臣らと会談し、経済関係進展などについて協議を行った。また、北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイル発射について、国際社会として断固とした対応をとらざるを得ない旨や、対応に向けた協力及び連携について参加47カ国の外相らの前で演説。



モンゴル国ボルド外務大臣

10/10 高校生平和大使へ感謝状授与 (水)

外務副大臣として、長年にわたり核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴えている「高校生平和大使」の皆さんへ感謝状を授与。今回県内から初めて県立清水東高校1年の鈴木七海さんが受賞。



10/17 スタンドアップ・テイクアクションに参加 (水)



UNDP(国連開発計画)駐日代表・総裁顧問の弓削昭子さんと親善大使の紺野美沙子さんの表敬を受け、極度の貧困や飢餓の撲滅を目指す国連の活動(スタンドアップ・テイクアクション)に外務省職員と共に参加。

各国要人から表敬

外務副大臣として世界各国や組織の要人より表敬を受ける。就任から12月までに35人以上の要人と会談。



セルボ次期包括的核実験禁止条約準備委員会事務局長

国会見学&東京スカイツリー「ソラマチ」&浅草ツアー

9/6(木) 歩む会天竜支部

9/12(水) 歩む会菊川・掛川支部



恒例の国会見学ツアーを開催。国会では議長サロンや第一委員会室など見学し、新スポットの東京スカイツリーは高さと迫りに圧倒された。思い出に残るいい一日となった。

9/18(火) 働く仲間の現場を視察

JR東静岡駅の東に位置するJR貨物静岡貨物駅を視察。コンテナの荷役作業や大型フォークリフト、指令制御室などを見学し、日本列島を往来する貨物事業の重要性を改めて認識した。



【静岡市駿河区】

7/24(火) 第46回全日本高等学校馬術競技大会

9/16(日) 第64回全日本障害馬術大会



静岡県馬術連盟会長として、両馬術大会に出席。人馬一体となった高い技術の数々を見て、改めて馬術の素晴らしさに感動した。馬術競技強化に向け更に尽力していきたい。

【御殿場市馬術・スポーツセンター】

8/12(日) 河合弥八記念館視察

掛川市出身の偉人、故河合弥八氏(侍従次長や第4代参議院議長を歴任)の記念館を視察。当主の河合修氏を始め、建設に携わった南郷地区の皆様から足跡と貴重な資料について説明を受け、同じ参議院議員として深い感銘を受けた。



【掛川市南郷地区】

しんば賀津也と語る会を6会場で開催



【町部地区センター】



【たまりーな】

10/6(土) 菊川市町部地区センター、河城地区センター

10/27(土) 掛川市たまりーな、大東北公民館、菊川市ひらかわ会館、御前崎市木ヶ谷公会堂

教育・福祉・社会保障から防衛・外交まで、国政の現状と課題などについて報告会を開催。各会場とも多くの皆様にご来場いただき、意義ある語る会となった。

●● 賀津也の部屋 ●●

与党の責任

野田総理が11月16日に解散した衆議院は、一か月後の12月16日が投票日となった。近年では異例の“師走の選挙”は、急ピッチでのポスターやリーフレットの手配、選挙事務所の確保、突貫工事での選挙体制の構築など、空前の慌ただしさの中の選挙戦となった。その中でも、私自身が今までの選挙との最も大きな違いを感じたのは「与党として迎えた初めての選挙」ということだった。

解散と同時に衆議院議員は議員としての身分を失職することになる。が、政府に入っている政務三役(大臣・副大臣・政務官)は、バッジを外してもその役職を継続しなくてはならない。そればかりか、選挙が終わっても、次の新しい内閣が発足し、後任が決まるまでは役所の仕事を続けることになるのだ。永田町の政局にかかわらず国民生活は継続しているのだから、当然といえば当然である。特に外交や防衛の分野に空白は許されない。事実、中国との尖閣をめぐる問題や、北朝鮮からのミサイル事案は、日本が選挙中だからといって待ってはくれなかった。

公示日が間近となり、いよいよ選挙戦の火ぶたが切られようとした12月初め、玄葉外務大臣から副大臣の私に指示が来た。「アイルランドのダブリンで開催されるOSCE(欧州安全保障協力機構)の国際会議に、政府を代表して出席してください」米国のクリントン國務長官やロシアのラブロフ外相等、世界の

約50か国の外相らが集うこの国際会議で、韓国などと連携して北朝鮮のミサイル発射に対し国際的な圧力をかけるのが目的だ。改めて「外交に休みなし」を痛感した。

とんぼ返りでの国際会議出席のあと、我々を待っていたのは24時間体制での外務省の在京待機。在京待機とは、有事に備えて大臣や副大臣が役所に交代でスタンバイすることだ。玄葉外務大臣や吉良外務副大臣は選挙を戦う候補者でありながら、参議院議員の私と交代でこの在京待機をやりぬいた。

選挙後半の12月12日。私は静岡2区の津川祥吾さんの地元相良で応援演説をしていたが、突然携帯電話に複数のメールが一斉に送られてきた。「北が人工衛星と称するミサイルを発射。至急上京せよ」という内容だ。街頭演説を切り上げ、後援会役員の八木庄蔵さんの車で静岡駅に直行。新幹線に飛び乗った。

マスコミは様々勝手なことを言うが、実は民主党政権の危機管理能力は非常に高かった。「北はミサイル発射を遅らすか、諦めたかもしれない」というマスコミ報道の中、実は政府は危機管理のレベルを高めていたのだ。お隣の韓国ですら“虚を突かれた”今回のミサイル発射だったが、日本は野田総理大臣以下、副総理、官房長官、防衛大臣、外務大臣とすべての関係閣僚が東京で臨戦態勢を取っていたのだ!

「選挙の年の大臣・副大臣はしんどいよ…」自民党のある先輩議員が仰っていた意味が、与党の責任と共に、身に染みて理解できた。

共に支え、共に歩む。しんば賀津也と歩む会「岳駿支部」設立!

しんば賀津也ファンのみなさま こんにちは! この度、富士川以東の有志が集まり念願の「岳駿支部」を立ち上げました。現在各種イベントを企画中です。イベントを通じて「しんば賀津也ファン」の輪をさらに広げたいと願っています。宜しくお願い申し上げます。

岳駿支部 会長 小野幸男

2013年前半 地元 活動計画

しんば賀津也 「2013政治セミナー」

■日時 2月9日(土) 午前11:00開演
(午前10:00より受付)

■会場 ホテルアソシア静岡3階「駿府の間」

■会費 10,000円

■ゲスト
衆議院議員
細野豪志 先生
(民主党政策調査会長)



※チケットのご購入など、詳細は事務所までお問合せください。

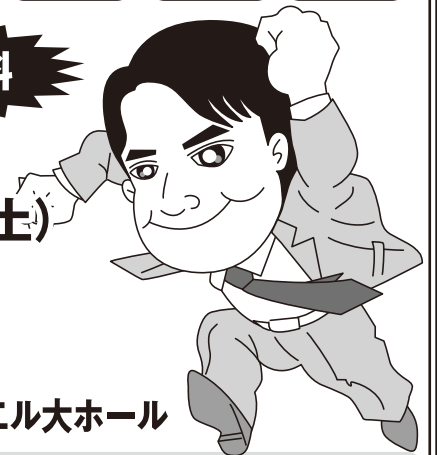
第12回

国政報告会

入場無料

■日時
4月6日(土)
午後2:00開演
(午後1:00より受付)

■会場
菊川文化会館アエル大ホール



どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。当日は手話通訳があります。また駐車場に限りがありますので、乗合わせ等のご協力をお願いします。

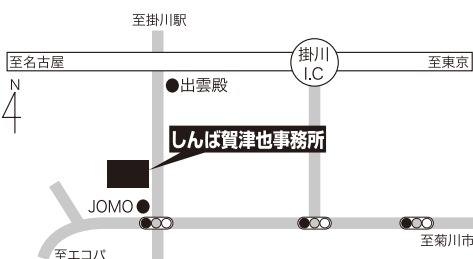
新しいリーフレットが完成しました!

しんば賀津也と歩む会では、より多くの方々に、しんば議員の政策や政治にかける思いを知って頂きたく、リーフレットを作成しました。静岡県内すべての市や町が、しんば議員の活動範囲です。友人、知人、お知り合いに「しんば賀津也」を支える輪を広げていきましょう。



『しんば賀津也と歩む会』 会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支えていただける方を募集しています。年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com

<http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。